

桜井城跡発掘調査 現地説明会のご案内

安城市教育委員会文化振興課



北側調査区の発掘調査風景



井戸 (SX132) 戦国時代の鍋 (内耳鍋) 出土状況

日時

平成 28 年 (2016)

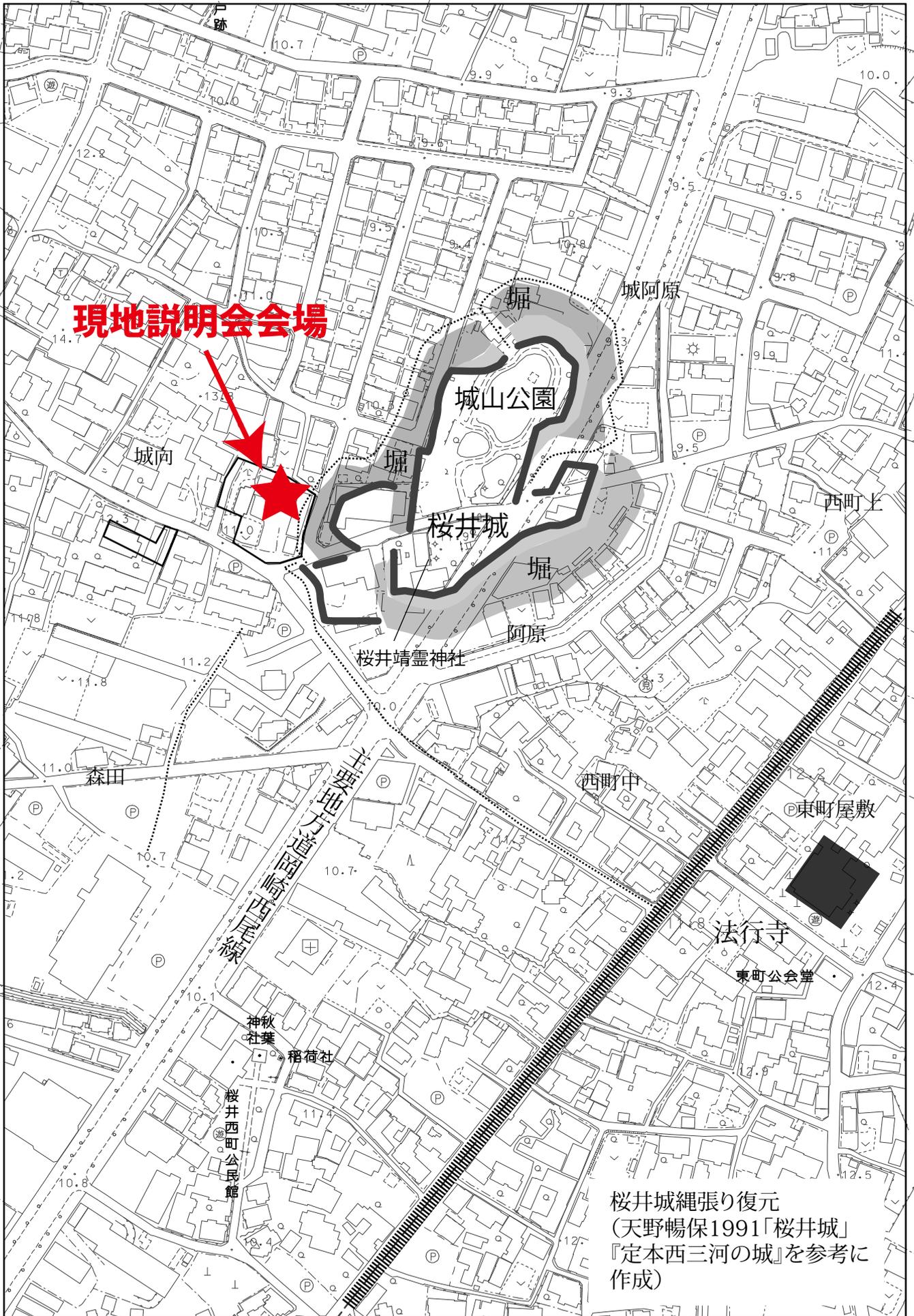
2 月 20 日 (土)

午前 10 時 ~ 12 時

※駐車場はありません。
歩きやすい靴でお越し下さい。

桜井城と松平家の関係は、安城城を居城とした安城松平家四代親忠の子親房が桜井へ分家してきたことにはじまります。この親房は、桜井神社に残る棟札から大永 7 年 (1527) に桜井神明社を建てた人物であることがわかっています。親房死後の 1530 年ごろには安城松平家五代長忠の子信定が入城、桜井松平家がおこりました。家康 (安城松平家九代) の関東移封 (1590) に伴い転出することになった桜井松平家六代家広までのおよそ 60 年間、桜井城は桜井松平家の居城でした。

今年度、安城市教育委員会は安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業に伴い、桜井城に隣接する地点を継続的に発掘調査してまいりました。ぜひ、この機会に文化遺産の宝庫、桜井の歴史に触れていただきたいと思います。



現地説明会位置図